

▲ブリヂヤナー氏(京師植花白土義経師)
▲生野蘭六氏(鐵道委員會參事) 十八日附
▲より入京朝鮮ホテル
▲橋本益太郎氏(近衛師團司令部附) 十九日附
▲釜山より入京山本旅館
▲平井井氏(陸軍技師) 同上

れ」^(一)お出なさいまし、此方へお掛
けなさいまし、貴下方は是から船岡
へお出なさるのかね」其のつもりで、
船岡まで行くには急がなくては叶か
ね、途中で日が暮れるのを懸念し、
「急いで船内に入れようかな」とい
ふに急げば日の内に入れば、「さア
お茶をお喫みなせよ」時イヤ有難ふ
言、貴下の袴は眞白で美麗ですな、
七八寸もありますかね」「腰一尺は
少し短い、八九寸はあるだらう平
俺共の村に一人若く時分から袴を伸
して彼は一尺二寸も伸ばしたと、ス
ルと江戸から商賈が来て、非徒其の
袴を賣つてくれと一面分ち、袴を
賣つたが、お前様の袴は眞白で美
麗だから一兩や一兩二分にはなるだ
らうから賣つてしまつたら宜からう

歸へるぬしより
木村屋ばんが待ちかねる
市街に○の旗展るゝ旅所向を諸侯所
○「ヤー當々出合候へ、此
等を逃してはならん、殺して
と呼はると右手の林の中より手に
に雙物を掲げて十四五人の曲者現
れ出て「ソレ迷すな」と人々を

辭せて置いて何で懸つて参る「腰
の方で遮げるにお前の方から御堂
のた、答めてよければ俺の方が
容めるのだ、愚圖／＼云はずに早
行きなさい」○此奴不識なことを
老爺だ、第一笠を冠つて居つて
を云ふは何だ、此の笠脱れ」と
如手を伸して冠れる笠を摘獲はう
した「何をするか」と其の手を
に捻り、ドンと向うへ投げたから

(京談明治町
七〇)

め、に助けらる波瀾萬丈曲新

後の足踏も通してなります。又此の時代は兎角芝生味のもので、から不生園藝にウツギ、キー、草花水を使い、ウツギ香津を用ゐることを好むはなりません。ウツギ香津は本邦萩威の解で、山茶花津に属し、油、レリ、油を加味し、更に蜜の類を配合してありますから、湖上を引下り香を去る性質がありますので、



段國務總理の面目

再び外交總長案の否決

段國務總理の面目、再び外交總長案の否決。段國務總理の面目、再び外交總長案の否決。段國務總理の面目、再び外交總長案の否決。

羅軍國境に敵を撃攘す

十八日羅馬に於ける公報に、敵軍は國境に侵入し、我軍は之を撃攘す。十八日羅馬に於ける公報に、敵軍は國境に侵入し、我軍は之を撃攘す。

李元用伯一著京

李元用伯一著京。李元用伯一著京。李元用伯一著京。李元用伯一著京。李元用伯一著京。

川村元帥歸東

川村元帥は十八日五時、東京に歸東。川村元帥は十八日五時、東京に歸東。川村元帥は十八日五時、東京に歸東。

秋山軍司令官

秋山軍司令官は白水、秋山軍司令官は白水。秋山軍司令官は白水、秋山軍司令官は白水。

哈爾濱と米

哈爾濱と米。哈爾濱と米。哈爾濱と米。哈爾濱と米。哈爾濱と米。

大阪たより

大阪たより。大阪たより。大阪たより。大阪たより。大阪たより。

日露連絡運輸

日露連絡運輸。日露連絡運輸。日露連絡運輸。日露連絡運輸。日露連絡運輸。

京城の街路樹整理計畫

京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。

哈爾濱より

哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。

上海鮮魚收入

上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。

新築小學校校工起工。新築小學校校工起工。新築小學校校工起工。新築小學校校工起工。

京城屠場擴張工事。京城屠場擴張工事。京城屠場擴張工事。京城屠場擴張工事。

哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。

全南の米と棉。全南の米と棉。全南の米と棉。全南の米と棉。全南の米と棉。

上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。

道索空架(式)チリハ 告廣却賣安格

呈送會明明次一御は方の望希御

子王京東 部物金社金ラ洋東 (番五話電)

附屬完備

長一 理一 分一

部一 一 一

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行

業務ヲ確實親切に取扱申候

資本金 參百萬圓 明治三十八年設立

株式 漢城銀行

支店所在地 水原、平壤、大田、開城

出張所所在地 南大門、鍾路、東馬

電話 二六六六 一八六三 二〇五

毛布

今回都合に依り左記の處へ移轉仕候信舊の

御引立奉願上候

大正五年十月

京城府本町一丁目五十五番地

古川 業所

所主 内古川 惠之助

電話 二五六六 番

製天

新製金

着荷新

捕品

店支城京文時福

品

日鮮人向

家具膳物卸

重箱鏡臺

丸五漆器

朝鮮京城露町

電話 二二七四 番

京城振替 三五九番

何なんから何なんまで内うち地ぢ育やうちこ見み違ちがへるや

まるで内地育ち——宋乗駿子——の家庭——

不義の露頭を懼れて
繼人の質母を殺害す

所。世々郭對に順々遷を

代からの此所の主人で毎日植木の手

新報

蘭和市氏は伊藤統監時

物^{もの}の厚^{あつ}の邸^{てい}官^{くわん}督^{とく}總^{そう}

「こぼすゝと見れば退室へ通
ふ徑の左右には小さい小猿の意が鉢
に由盛りにふくらみつゝ満開したら
さぞや／＼と思はれる、徳慶なのは
宴會の時のテーパーものに用ゐられ
るのに相なゝ大きな一輪挿しには一
重大輪の十六瓣のものもあつた、大輪
りにはまた一本の根元から十四五本
の枝を出したのもあつた、官邸で

後から忍び寄つた茶目はいきなり其の包へ小便を爲懸て居る、日本人の

▲交通遮断一部解除 大坂警察廳は、ては虎疫病の爲め、野人部落に於ける府内約三分の一に亘り交通遮断を決定したるが、近頃流行が緩み、西成町、西千代町、明町、二丁目、密町の一部、徳山町の一部、南山の幾部の交通遮断を解除し、たに患者發生したる村上町の一部、元町の一部に交通遮断を命じたるが、患者發生の全家族は他に轉移せり (大坂)

式府壹番地、商號使用者ノ氏名住
會和泉町六拾六番地金台鎮
社石川縣物產紹介所ハナ

可愛い御子

わしはねかん、
ちあれつひうっけ
小児に字津

九命救津宇
沢村昌子

人の二方慶を結言して見るや方慶

名現はれ朝鮮小刀を以て脅迫し格

りたり

先づは目用度しく、御前とは似ても似つかぬ花嫁

口技如驚入三昧紙旁良掛



11

日夫郷を結ん
 ぬあつ
 状態よ
 獄の状
 心づ
 の情況
 地人が
 庭に近
 のよ
 が内地
 内地人
 情を識
 たなら
 兄たい
 も亦内
 も異ら
 になり
 ける

とがらには一瞬の間に幾ら心算も殺害して暗殺の事に懸らんぞ決心し月二十四日學順は所用にて他行し川禮のみなるを見逢まし同役深澤川禮の敷室に侵入し携へ來れる者を以て許川禮の首を絞めたるに一息絶して人事不省に陥りたるより命したるものと思ひ其儘逃走して哲子と林學順が間も歸宅して急手當を加へしかば許川禮は幕生たるが郭姓女は遂に檢査せられ覺悟未逮罪として京城地方法院に於て役十年の判決を受けたるを不服し同覆審法院に控訴したなり

● 留置場を破つた

二人組の兇賊

大府西成郡傳法町生れ 齋藤源次郎

(言へば) 前後四回入獄したる曲者なりが廣島縣監獄郡監の城村生れのものゝ二回入獄したる宮崎堅一(一七三三)と

出ゐる。評會に特等賞を授けられ、
 傷を負はせしむるは、
 逃走せしむるは、
 眼せしむるは、
 負傷せしむるは、
 下獄探中へ入る。

話 一番苟のお好きだったのは、仲曾結城殿にござんした、結城は伊豆百年に土をいぢられました程で、幸四郎下りななく、お好きでございました。」

● 飯塚から留置場へ、廣瀬富山縣下新田郡下中島村生也住所本宅無蔵野田作二郎（こは旁證詐欺前科三犯を併し四月十三日許駈を關から入獄本府九日中獄したるが其處にて南門町結城富山縣に於て飲酒をなし辱れ無一文にて仕拂出來ず即時牢屋風の留置場に打込まる

● 松花云々

更に多くに詰め込んで乗の室まで行つて居る内に付け合はせて思つて里

[illegible]

金阿貳丁目
 拾月拾八日
 買入
 十九日
 拂下
 拾貳點
 十月廿五日
 京城
 京城分
 一日午前
 一於テ
 候ニ付
 練兵場
 アリタ
 準備人
 軍人
 生徒
 行會社
 商店
 於ハ仲
 於ハ仲

金

優劣ナル商品提供
六信用アル藥店革命ナリ

熊平支店

長電六二四番
振替東京二番

レウマチス

吹チに治る家傳靈藥有健全幸福を望
む方は二錢切手封入照會の上誠明致
通呈す困る方役場が警察の差込で只
送藥す 東京深川門前山本町 吉田家

救命


本所新設各都高松澤子津本店
鋪東京總町飯田町宇津出張店

藥價 二錢三十錢三十錢五十錢
五十錢

病

に病名を記し、
既而腸胃小
便化學


EP
品質良
西料理
金食堂
京都府京橋区三軒丸太町二丁目一番地
電話 五七九八



は 鍵 の 廉 健

あ だ あ だ

浅 田 飴



本 舗

大 坂 堀 内

人 に

よ き

は し

一 切

大 へ せ き

滋 養 健 康 毎 日


「ヨッグルト」


最 高 級 牛 乳 販 賣 部


一 等 牛 乳 製 品

虎 井 の 牛 乳

長 壽 婦 人 は







金阿貳丁目
 拾月拾八日
 買入
 十九日
 拂下
 拾貳點
 十月廿五日
 京城
 京城分
 一日午前
 一於テ
 候ニ付
 練兵場
 アリタ
 準備人
 軍人
 生徒
 行會社
 商店
 於ハ仲
 於ハ仲

金

優劣ナル商品提供
六信用アル藥店革命ナリ

熊平支店

長電六二四番
振替東京二番

レウマチス

吹チに治る家傳靈藥有健全幸福を望
む方は二錢切手封入照會の上誠明致
通呈す困る方役場が警察の差込で只
送藥す 東京深川門前山本町 吉田家

救命

本所新設各都高松澤子津本店
鋪東京總町飯田町宇津出張店

藥價 二錢三十錢三十錢五十錢
五十錢

來登記

業、營業之
所京城府
開號使用者
六拾六番地
川縣產紹
四日目的ヲ

工器具茶刺
縫衣布和洋織品類
菓子麵粉雜糧油鹽醬醋果菜類
薪炭諸物並什貨雜物
其情願負仲介物件
素以月目卜
拾月拾六月
大正五年拾
丁巳參番地

可愛い
 御子
 方
 の
 小児に
 宇津の
 丸
 命救津宇
 漢相馬守
 丸

ちねし結かん
 ちねしつひきつけ
 衣なき等ののり強

小児に宇津の丸
 命救津宇
 漢相馬守
 丸

ちねし結かん
 ちねしつひきつけ
 衣なき等ののり強

100

て認得の指
し刺殺す
れのと工字

江界憲兵分隊に引致さる

100
